
	令和5年度 大瀬戸小学校だより 第6号	令和5年 7月20日(木) 西海市立 大瀬戸小学校	
<h1>なみ大瀬戸</h1> <p>かよくみんな</p>		校長 前野 泰介	

夏休みへ… (「見通し」と「見届け」)

1学期が終わり、夏休みへと入ります。明日からは、子どもたちを各御家庭にお返しすることになります。教育活動の中心が、それぞれの御家庭になりますね。

そこで、御家庭での夏休みの生活や学習の「構え」のヒントとなるようなことを紹介します。参考にいただければ幸いです。

子どもの成長には、「適度なストレス」が必要だと言われます。「適度」がポイントです。例えば、「夏休みに、漢字100pを仕上げなさい」などという、果てしないゴールや、子どもの力量を大幅に超える内容を設定することは、成長にはつながりにくいということになります。「適度」というのは、子どもにとって「できるかもしれないしできないかもしれない」レベルを言います。簡単すぎてもだめ、難しすぎてもだめなのです。その子の能力を見極め、「適度」を見付けるのがよいようです。

さて、そのために、親は、何をどうすればよいのでしょうか。

教育には、「見通し」と「見届け」が大切だと言われます。まずは、「見通し」について具体的に触れてみます。

「見通し」とは、「計画」のことです。「計画」は、親が勝手に決めてしまっただけでは効果が半減します。子ども自身の意思決定が前提ですが、親の助言や提案は欠かせません。

今年度、夏休みは42日間あります。例えば、漢字1日1pを取り組むと、42pの練習ができます。だけど、一律に設定するのは難しいでしょう。家庭によっては、お盆に親戚が集まったり、旅行へ行ったりする場合がありますね。心ここにあらずの状態、漢字練習をさせても身になるとは思えません。それよりも、そのときしかできない貴重な時間を過ごさせることが大切です。この場合、お盆の1日と、旅行の1日分を引き算して、40ページと設定する方法があります。さらに、お盆までに25p、残りの期間で15p…などと、終着駅(ゴール)の途中にある駅(小目標)を決めて取り組むとよいでしょう。そうすると、駅ごとに成功体験を積み重ねることができます。成功体験の積み重ねは、意欲の向上につながります。「見通し」とは、このようなことを意味します。

次に、「見届け」について触れます。「見届け」とは、大人が子どもの進み具合を確認することを意味します。それは、終着駅の直前に「今何ページ終わってるの!？」と急に指摘することではありません。この場合、「終わるまで、遊び禁止!おやつなし!」と最後は高圧的になることが想定されます。これは、自主的に学ぶ姿勢を阻害し、勉強嫌いをつくることにつながります。そうではなく、例えば、一週間毎に確認することが大切です。つまり、途中の駅毎に計画的に大人が介入するのです。このことは、子どもが自力で軌道修正するチャンスをつくることになります。「見届け」とは、このようなことを意味します。

明日からの夏休みに備え、「見通し」と「見届け」を意識しながら、親子で計画を立ててみてはいかがでしょうか。このことは、学習だけに限ったことではありません。そのとき、親は助言や提案を行い、一部でも子どもの意思決定を取り入れることが大切です。

被爆体験講話

7月14日（金）に、長崎原爆死没者追悼平和祈念館からの派遣で、橋本 富太郎さんにご来校いただき、ご自身の被爆体験についてリモート形式で講話をしていただきました。



1歳11ヵ月での被爆ということで、「記憶はない」とおっしゃられていましたが、ご両親から語り継がれた出来事を、まるでご自身の体験のように話してくださいました。ただ、ご自身も、外傷こそないものの、体の内部を被爆されており、様々な病気やけがに苦しんだことを赤裸々に、かつ子どもが怖がらないように気遣いながら伝えていらっしゃいました。

左の写真は、教室へ入るなり、いきなり子どもを集めて床に座り込んで話を始められた様子です。リモートではあったものの、子どもと対面で話したいとのことで、5年生教室で、5年生と対話しながらの様子を全校に中継する形をとりましたが、その始まる前のことでした。講話を聴きながら、直前のこの行動の意味が分かりました。子どもとの間合いをととても大切にされながら、温かく熱く、見事に子どもの心を驚づかみにしながらお話しされる姿には、私たち教職員も引き込まれてしまいました。

子どもたちも私たちも、原爆の内容理解だけでなく、「伝え方」のお手本としても学ばせていただいた貴重な時間でした。

学校だより第1号に「子どもに残すべき“財産”は、お金・地位・名誉ではなく、より多くの大人の渦の中に巻き込まれた“経験、”と書きましたが、まさに、そのことを実感できた機会となりました。

職員紹介

もう、すでに子どもから聞いていると思いますが、本校に、新たに教職員が加わることになりました。

大串 久美子 先生です。6年理科、2年音楽と書写、そして、おおぞら学級とたんぼ学級の一部の時間にT・Tとして授業を行います。午前中の短時間勤務になります。

どうぞよろしくお願いいたします。

このことに伴い、複数の教員が、おおぞら学級にT・Tとして入るようになります。流動的になりますが、2学期から本格的に運用します。

※ T・Tとは、「チーム・ティーチング」の略称。二人の授業者が、役割分担をして授業を行うシステムのことです。

【8月の行事予定】

8 / 9 (水)	県民祈りの日（登校日） 11:20 下校
8 / 10 (木) ~ 8 / 16 (水)	学校閉庁日 ※緊急で連絡が必要な場合は、西海市教育委員 (37-0078) へ。
8 / 21 (月)	リモートによる様子確認 (別紙参照)
8 / 20 (日)	P T A環境整備作業 7 : 3 0 ~ (雨天 27 日へ延期)
9 / 1 (金)	第2学期始業式

最後に・・・

夏休み中に、**食事のマナー**について、見直しをしてみましよう。子どもが、社会へ出たときに恥をかかせてはならないと思います。本校の課題の一つです。